

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	立田和久	学校名	市立札幌清田高等学校
教科（科目）・領域	学校設定科目 「ワールドスタディズ」	対象学年（人数）	3年 6組（40名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2023年 11月（2時間）		

## 【実施概要】

1. 単元名(活動名)：ジェンダーギャップの克服を目指して						
2. 実践する教科・領域：		3. 学習領域				
学校設定科目 「ワールドスタディズ」			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： 世界経済フォーラムの発表するジェンダーギャップ指数で日本は146ヶ国中125位で、先進国の中では最下位である。そのような状況下で、日本のジェンダーギャップの改善にはどうすればいいか考察する。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	日本のジェンダーギャップ指数の現状を正しく理解する。				
	②思考力、判断力、表現力等	ジェンダーギャップ指数の是正がなぜ必要か考察できる。				
	③学びに向かう力	ジェンダーギャップのない社会に向けて必要なことを、自分自身の問題として考えようとする。				
6. 単元設定 の理由・単元 の意義 (児童/生徒観、 教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>SDGs の目標の一つである「ジェンダー平等の達成」には、日本はこのままでは 131 年後の 2154 年までかかるといわれている。特に男女間格差は深刻で、世界経済フォーラムが毎年発表するジェンダーギャップ指数は、2023 年は 146 ヶ国中 125 位と先進国の中では最悪の順位となっている。男女雇用機会均等法や育児休業法などの法整備が進む日本ではあるが、依然として政治的分野や経済的分野で男性中心の社会的な構造は変わらず、諸外国から日本は大きく後れを取っている。「ジェンダーギャップの克服のためには何が必要なのか」を考え、「女性だから」「男性だから」にとらわれず誰もが自己実現のできる社会を目指す必要がある。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>本授業を実施するグローバルコースの生徒は、入学当初から SDGs を軸に学校内外で学びを深めているため、世界や日本の諸問題に対する関心が非常に高い。また、3 年次の 8 月には、生徒一人一人が SDGs に関連する社会問題に対するテーマを設定して、そのテーマに関して英語で発表する「卒業研究発表」を行っている。それ故、社会問題に対して自ら問いをたてて考えようとする事ができる生徒である。</p>					

<p><b>【教材観】</b></p> <p>日本では依然として政治的経済的に男性が優位な傾向が強い。そのことは、世界経済フォーラムから出される「ジェンダーギャップ指数」において数値で如実に示されている。学校では生徒会活動や部活動においてジェンダー差別は少なくなりつつあるが、生徒が学校卒業後に活躍する「大人社会」においては、固定化された「差別」が存在する。日本社会に存在する「当たり前」とらわれず社会構造の矛盾について考える機会を提供したい。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>グローバルコースの学校設定科目のなかで、「平和」や「差別」に焦点を当てた授業は行ってきたが、本授業ではジェンダーギャップに焦点を当てて日本の抱える問題について考察する。日本のジェンダーギャップを事例に、今まで「当たり前」とされてきた社会の在り方に疑問を持ち、誰もが抑圧されることのない平等な社会の実現に向けて社会の当事者として考えてほしい。</p>
--

## 7. 単元計画 (全2時間)

時	ねらい	学習活動	資料など
1 本時	日本のジェンダーギャップ指数が先進国の中では最下位である現状を理解し、様々な視点で日本国内に存在するジェンダーギャップについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs の達成状況について確認する。</li> <li>日本のジェンダーギャップ指数の現状について、資料やデータを検討する。</li> <li>性差によって違和感のある社会的な出来事や現状についてグループで意見を出す。</li> <li>『アフガニスタンで警察官になった女性たち』を読み、この漫画の中の「日本にはない女性差別」「日本にもある女性差別」についての意見を出す。</li> <li>ジグソー活動</li> </ul>	『キルギスの誘拐婚』(林典子 2014年) 「都道府県別全国女性の参画マップ(2023年6月)」 「男女間賃金格差(我が国の現状)」 『アフガニスタンで警察官になった女性たち』JICA
2 本時	日本のジェンダーギャップの改善には何が必要かを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜジェンダーギャップの克服が必要か、意見を出し合う。</li> <li>性差による差別のない社会へと変化させるためには何が必要か、「ダイヤモンドランキング」をグループで作成する。</li> <li>ジェンダーギャップのない理想の将来像をワークシートにまとめる。</li> </ul>	

## 8. 本時の展開 (概略)

本時のねらい：日本のジェンダーギャップ指数の現状を理解し、日本のジェンダーギャップの改善には何が必要かを考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (10分)	「日本の SDGs の達成状況について確認しましょう。」 ・生徒は SDGs のアイコンを答える。 「日本では現状、SDGs の 5 番、12 番、13		

展開  
(10分)

番、14番、15番が「重要な課題がある」と指摘されています。」  
「本日は、SDGsの5番の『ジェンダー平等を実現しよう』に焦点を当てて考えてみたいと思います。」

「以下の4つの国の2023年のジェンダーギャップ指数が146ヶ国中何位くらいか、ヒントも参考に考えて下さい。また、なぜその順位にかかるかも考えましょう。」  
「1. アイスランド、2. キルギス、3. 日本、4. アフガニスタン」

- |   |
|---|
| <p>1. アイスランド</p> <p>ヒント①) 大事な会議の場などで男女比率に偏りがないようにする。</p> <p>ヒント②) クオータ制(男女の賃金格差で罰金が発生)の導入や男女共同育児休暇制度あり。</p>     |
| <p>2. キルギス</p> <p>ヒント①) 中央アジアに存在する遊牧が盛んな国で、「誘拐結婚」の伝統が残る。</p> <p>ヒント②) 女性国会議員の割合は19.2%(2018年時点)。</p>             |
| <p>3. 日本</p> <p>ヒント①) 1985年に男女共同参画社会基本法の制定。</p> <p>ヒント②) 2022年に「育児・介護休業法」が改正、男性でも子どもの出生直後に育休が申請しやすくなる制度を創設。</p> |
| <p>4. アフガニスタン</p> <p>ヒント①) 2021年にイスラム原理主義のタリバン政権が復活。</p> <p>ヒント②) 中等教育課程(中学・高校)の女子学生に「自宅待機命令」発令。</p>            |

「答えは、アイスランドが1位、キルギスが84位、日本が125位、アフガニスタンが146位です。2023年の日本の順位は過去最低で、先進国の中では最下位です。」  
「なぜ日本はジェンダーギャップ指数が低いと考えますか。皆さんが性差によって違和感をもつ社会的な出来事や現状をあげましょう。」

- 男女の賃金格差。
- 政治家や偉い人(管理職)は男性が多い。
- シングルマザーの低賃金問題と、仕事を求められ家事の時間がないシングルファーザーの問題。

※「ジェンダーギャップ」とは男女の性差によって生じる格差であることを補足する。  
※本日はジェンダーギャップについて扱うため、性的マイノリティについては扱わないことを補足する。

※タリバン政権は女性に対しスカーフ「ヒジャブ」の着用に関する指針を発表し、家族以外の男性の前では目だけを出し顔を覆うことを義務づけたことにふれる。



アイスランドの元首相(右端)の一家



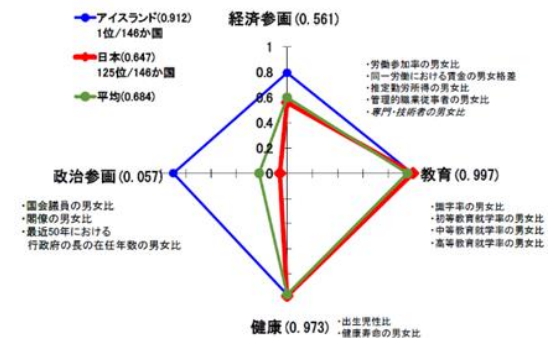
キルギスの遊牧民



日本(現在の内閣)



アフガニスタンの女子学生



『キルギスの誘拐婚』  
(林典子、2014年)

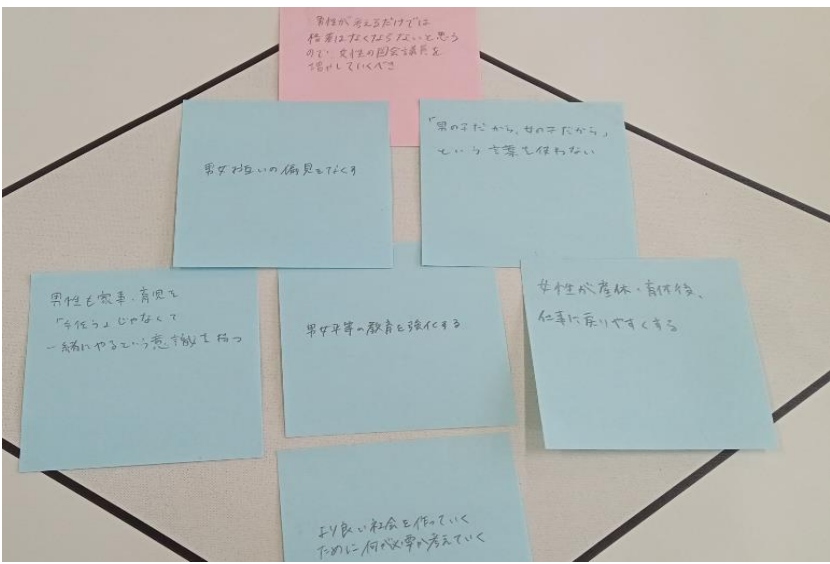


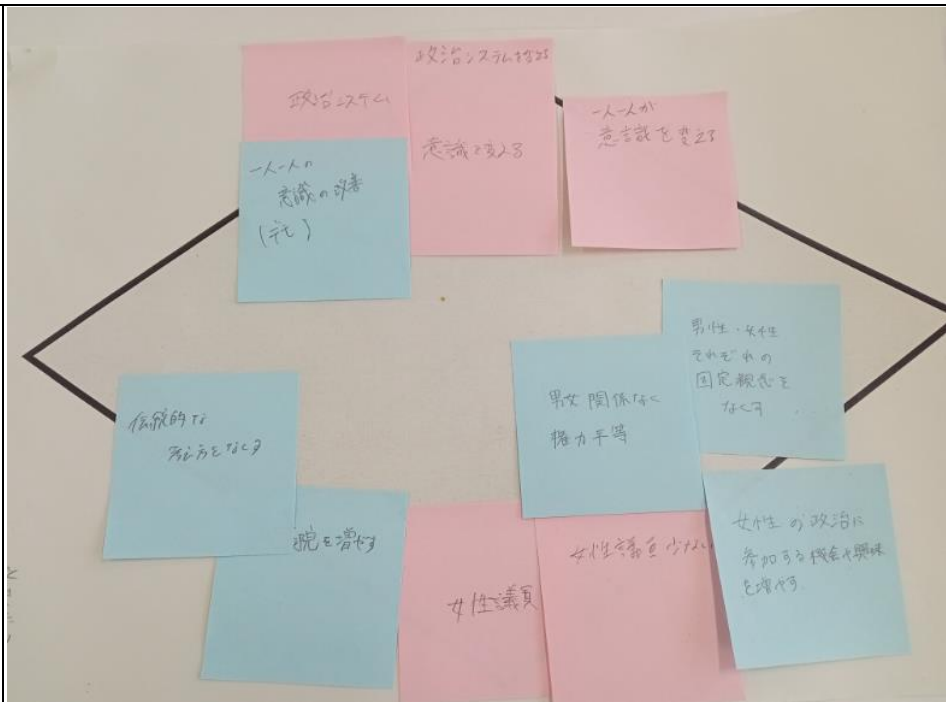
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「②家族レベル」 「具体的な事例」 母親が家事や育児をする。 「なぜその事例が生じるのか」 男性は「外」で働き、女性が「家」を守る価値観のなごりがあるから。</li> <li>・「③伝統的な考え方」 「具体的な事例」 国や学校のリーダー(総理大臣、学校長)は男性が多い。 「なぜその事例が生じるのか」 男性優位の儒教社会のなごり。</li> <li>・「④法律や国レベルでの政策」 「具体的な事例」 女性の社会進出や、男性の育児を奨励する法律や制度はあるが、なかなか法律や制度の意図する社会になっていない 「なぜその事例が生じるのか」 せっかく制度や法律があっても、個人や家庭、社会の価値観が保守的なままだと社会を変えられない。</li> </ul>		
<p>展開 (10分)</p>	<p>政治家の失言にも表れるように、日本には依然として男性が仕事や政治的・経済的場面において優位であることを良しとする風潮があります。世界経済フォーラムがジェンダーギャップを作成してその格差是正を呼びかけている理由をグループで考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が管理職や指導的立場を占めることで男性本位の政策が打ち出されてしまうので、多様な社会の実現のためには格差是正が必要。</li> <li>・男性が政治的、経済的に中心になることによって「家庭は女性」という考えが固定化されてしまうので、その在り方を改善するため。</li> <li>・誰もが能力に応じて就きたい職や「なりたい自分」になるために、社会的不均衡をなくすため。</li> <li>・育児休暇取得のための制度を活用して男性が育児休暇を取ろうとしても、周囲の環境がそれを良しとせず、男性にも精神的プレッシャーがある。</li> </ul>	<p>森喜朗の女性蔑視発言(2021年)を取り上げる。</p>	
<p>展開 (20分)</p>	<p>「ジェンダーギャップのない社会へと変化させるには何が必要か、一人3つ付箋に書いて下さい。その後、グループで付箋に書いたことを共有し、特に大切だと考えるものをダイヤモンドに順位を付けて並べて下さい。」 「グループで作成した『ダイヤモンドランキング』を発表して下さい。」</p>		



<p>まとめ (10分)</p>	<p>「日本はこの 30 年で、男女雇用機会均等法の禁止規定を強化する改正がなされたり、男性の育児を保障する法整備が進みましたが、まだまだ諸外国と比較すると遅れています。皆さんが理想とする、30 年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会かワークシートにまとめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、人々の無意識の「ジェンダーバイアス」のない社会が理想の社会だと考えます。今の日本には形ばかりは男女格差をなくす法律はありますが、なかなか職場をはじめとして今までの負の風土をなくそうとする意識は浸透しているようには思えません。ジェンダーギャップに関する今までの「当たり前」に対して正面から向き合い、個人や社会の固定観念を変えられた社会が理想です。</li> <li>・私は女性だけでなく男性も性別を気にすることなく仕事や家事をこなすことができる社会が、結果的にジェンダーギャップのない理想の社会であると考えます。そのためには、アイスランドのような男女共同育児休暇制度を導入し、男性が育児をしても個人レベルでも社会レベルでも違和感のない環境創りをする必要があると考えます。</li> <li>・私は、法律によって国や議会の定数の半分以上を女性にすることを義務付けた社会が理想だと考えます。そもそも、社会の半数が女性なのに、議会の多数を男性が占める今の日本社会の現状がおかしいです。男性議員が多いことで「男性の当たり前が社会の当たり前」になってしまう弊害があります。国も地方も男女比率が同等の議会にすることで、多様な意見を生かされる理想の社会になります。</li> </ul>		
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ日本は諸外国と比較してジェンダーギャップが大きいのかを理解できたか。（ワークシート）</li> <li>・ジェンダーギャップのない社会を実現するために何が必要なのかを考察できる。（ワークシート）</li> </ul>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダーギャップのない社会の実現に向けて必要なことを、ダイヤモンドランキングにまとめる。</li> <li>・自身の理想とする、30 年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会か、ワークシートにまとめる。</li> </ul>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で使用したプリントやスライドを、学校設定科目や他の教科で共有できるようにする。</li> <li>・学校内外の研究会で、授業を公開する。</li> </ul>			

## 【自己評価】

12. 苦労した点	<p>部活の部長や生徒会長に就く女子生徒は少なくなく、実社会において男女の賃金格差を経験したこともない高校生にとって、ジェンダーギャップを感じる場面は意外と少ない。それ故に、実社会に存在するジェンダーギャップについて「自分事」として考察させることに苦労した。</p> <p>性的マイノリティについて言及する生徒が授業の前半にいた。もちろん性的マイノリティに関する事柄も大切なジェンダー問題ではあるが、本授業ではあくまで「ジェンダーギャップ(男女格差)」に焦点を当てていることを何度も伝えなければならない場面があった。授業の導入において私が「本日はジェンダー問題について扱う」と強調しすぎたことが、生徒の本授業の理解の妨げになってしまったと反省する。</p>
13. 改善点	<p>本授業の内容を一つ一つ時間をかけて実践をしてしまうと、時間内に授業が終わらなくなってしまう。そのため、導入や知識の整理に関する場面はテンポよく進み、ジグソー活動やダイヤモンドランキングなどの生徒の中心の活動にしっかりと時間を割けるようにする必要があった(ダイヤモンドランキング作成の時間が明らかに足りなくなってしまった)。</p> <p>今回の授業では、まとめに「30年後のジェンダーギャップのない理想の社会」について生徒に考察させたが、ジェンダーギャップのない社会に向けて「自分はどうか」「自分たちがどのように社会を変えていきたいか」などを考察させることも良いかと考える。</p> <p>生徒の多くが、日本のジェンダーギャップ指数が先進国最下位であることを知らない「意外なこと」である状態で本授業を受けた。授業の導入でSDGsの達成状況を確認して「ジェンダー問題」が深刻な問題であるという「ネタばらし」せずに授業を進めると良かったと考える。</p>
14. 成果が出た点	<p>これから実社会に出る高校3年生に、普段あまり意識してこなかった(自分事化してこなかった)男女格差について考えさせることができたのは成果の一つだと考える。女子生徒だけでなく、男子生徒も授業内で積極的に発言したりグループ活動に取り組む姿を見ると、男女格差の是正は性別にとらわれず一人一人が向き合わないといけない問題であることに生徒は気づいてくれたようである。</p>
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	 <p>The image shows several sticky notes with handwritten Japanese text. The notes are arranged on a wall, with some overlapping. The text on the notes includes:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「男がやるだけじゃ格差はなくなると思ってる。女性の収入も増やしていく」</li> <li>「男の子から、女の子から、そういう言葉は使わない」</li> <li>男女お互いの偏見をなくす</li> <li>男性は家事・育児を「やらせ」しなくなり、一緒にやるという考えが広がると</li> <li>男女平等の教育を強化する</li> <li>女性に専任・責任を、仕事に割り当てることができる</li> <li>より良い社会を作っていくために何が必要かを考える</li> </ul>



上. 生徒の作成したダイヤモンドランキング

(作成する時間が足りなくなり、ダイヤモンド型にできなかった班が出たことは反省点である)

下. 「30年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会か」についての生徒の記入したもの。

7 30年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会かまとめよう。

まず、国会議員の数や、大臣の数、このをなるべく半にするというのが第一の目標で、その実現が社会にも模範となり、反映されていくと思う。また、国会内で女性为上の立場に就きやすくすれば、パワハラ、セクハラなどの被害も減り、適切な労働環境になる。また、少し偏見はあるが、年齢が高くなるほどジェンダーに対する意識が低くなるので、その辺りの考えを改めることも大事だし、加齢の考えを取り入れるように選挙の20代の投票率も上げ、ジェンダーギャップをなくす。

7 30年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会かまとめよう。

政治において多くの女性が活かし、そのため女性の意見が反映されやすくなる社会。家庭や育児の場において女性の負担を軽減させ、賃金を上げる。男性にも家のことについて積極的に行動してもらえよう。そのため、育児制度をより効果的にしてより使いやすいように作り直し男女ともに家と仕事での活動を平等に分担する。



16. 授業者による自由記述	<p>本授業の作成に伴い、校種に関わらず多くの先生方から助言をいただいた。また、授業実践において勤務校の多くの先生方や JICA 北海道の桐山あす美様から貴重なアドバイスをいただいた。男性の私が自らの無意識のジェンダーバイアスとどのように向き合いながら授業を創ればよいのか葛藤をしたが、多くの方々に支えていただいて授業を行うことができた。授業を創るにあたって粘り強くご指導いただいた大津和子先生をはじめ、関係した方々にこの場をかりて御礼を申し上げます。</p>

参考資料：

林典子『キルギスの誘拐結婚』、日経ナショナルジオグラフィック社、2014年

井上きみどり『アフガニスタンで警察官になった女性たち』「何とかしなきゃ！プロジェクト」2018年内閣府男女共同参画局「都道府県別全国女性の参画マップ(2023年6月)」

[https://www.gender.go.jp/policy/mieruka/pdf/map\\_all.pdf](https://www.gender.go.jp/policy/mieruka/pdf/map_all.pdf)

内閣府男女共同参画局「男女間賃金格差(我が国の現状)」

[https://www.gender.go.jp/research/weekly\\_data/07.html](https://www.gender.go.jp/research/weekly_data/07.html)

# ジェンダー問題を考える

—社会構造の矛盾について考察する—

日本のSDGsの達成状況について  
確認しましょう

日本で達成されているSDGs及び全く達成  
されていないSDGsは何番ですか？



## SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



画像参照：SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2023

本日は、SDGsの5番の  
『ジェンダー平等を実現しよう』  
に焦点を当てて考えてみたいと思います

次の4つの国の2023年の  
「ジェンダーギャップ指数※」は146ヶ国中  
何位か、ヒントも参考に考えて下さい。  
また、なぜその順位にかかるかも考えましょう

1. アイスランド 2. キルギス 3. 日本 4. アフガニスタン

※ジェンダーギャップ指数とは？  
世界経済フォーラムが毎年公表している、男女の性差によって生じる格差を示す指数

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 1. アイスランド



アイスランドの元首相(右端)の一家

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 1. アイスランド

ヒント①)

大事な会議の場などで男女比率に偏りがな  
いようにする

ヒント②)

クォータ制(男女の賃金格差で罰金が発  
生)の導入や男女共同育児休暇制度あり

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 2. キルギス



キルギスの遊牧民

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 2. キルギス

ヒント①)

中央アジアに存在する遊牧が盛んな国で  
「誘拐結婚」の伝統が残る

ヒント②)

女性国会議員の割合は19.2%(2018年時  
点)

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 3. 日本



岸田改造内閣(2023年9月13日発足)

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 3. 日本

ヒント①)

1985年に男女共同参画社会基本法の制定

ヒント②)

2022年に「育児・介護休業法」が改正、男  
性でも子どもの出生直後に育休が申請しや  
すくなる制度を創設



「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 4. アフガニスタン



アフガニスタンの女子学生

「ジェンダーギャップ指数」は146ヶ国中何位か？

## 4. アフガニスタン

ヒント①)

2021年にイスラム原理主義の  
タリバン政権が復活

ヒント②) 中等教育課程(中学・高校)の  
女子学生に「自宅待機命令」発令

次の4つの国の2023年の  
「ジェンダーギャップ指数※」が146ヶ国中  
何位か、ヒントも参考に考えて下さい。また、  
なぜその順位になるかも考えましょう

1. アイスランド 2. キルギス 3. 日本 4. アフガニスタン

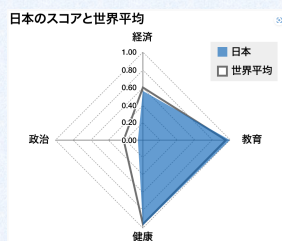
1位                      84位                      125位                      146位

(先進国最下位)

※ジェンダーギャップ指数とは？  
世界経済フォーラムが毎年公表している、男女の性差によって生じる格差を示す指数

なぜ日本はジェンダーギャップ指数が  
低いと考えますか  
皆さんが性差によって違和感をもつ  
社会的な出来事や現状をあげましょう

ジェンダーギャップ指数は『経済』『政治』『教育』『保健』  
の4観点から数値化されています  
日本についての以下のグラフから、どのようなことがわかりますか



出所: 世界経済フォーラム Global Gender Gap Report 2023 © nippon.com



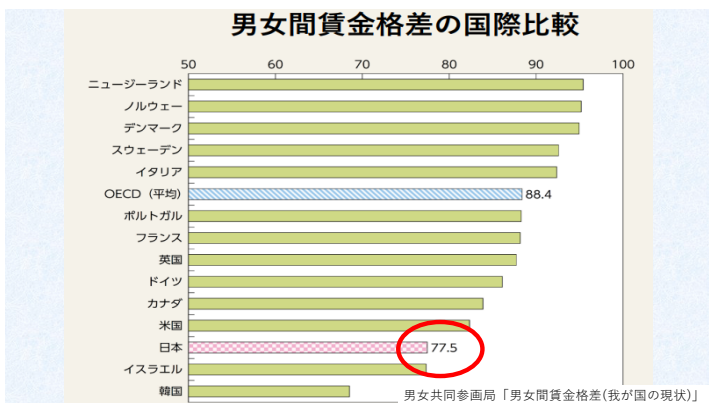
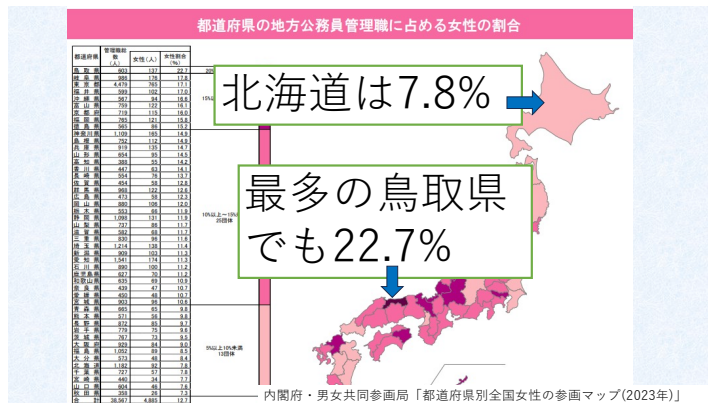
岸田内閣  
(首相と副大臣)



岸田内閣  
(首相と国務大臣)



岸田内閣  
(首相と大臣政務官)



「日本にはない暴力や女性差別」は?

- ・伝統によって10歳で女性は「大人」とみなされる
- ・「大人」とみなされた女性は学校や公共の場で別々に扱われ、家族以外の男性と目を合わせてはいけない
- ・女性は男性の「所有物」のように扱われ、なかなか教育を受けられない
- ・女性警察官がほとんどいない
- ・何か問題が起こると女性が悪者にされる

「日本にもある暴力や女性差別」は?

- ・DVや性暴力
- ・女性に対する嫌がらせやセクハラ
- ・男性よりも、女性が自由に職業や生き方を決めるににくい側面がある

アフガニスタンに限らず、日本社会にも

「①個人レベル(個人のジェンダーバイアス)」

「②家族レベル」

「③伝統的な考え方」

「④法律や国レベルの政策」

で、ジェンダーギャップを感じさせられる出来事があります。①~④の具体例を挙げましょう。



それぞれのグループで①～④の割り振られたいずれか一つのテーマについて話し合いをして下さい。

その際、「具体的事例」「なぜその事例が生じるのか」を話し合ってください。  
その後、テーマ①②③④の4人1グループを再編して、お互いの意見を聴きましょう。

日本社会の  
「①個人レベル(個人のジェンダーバイアス)」  
「②家族レベル」  
「③伝統的な考え方」  
「④法律や国レベルの政策」

において、ジェンダーギャップを感じさせられる出来事は?なぜギャップが生じるのか?

政治家の失言にも表れるように、日本には依然として男性が仕事や政治的・経済的場面において優位であることを良しとする風潮があります

世界経済フォーラムがジェンダーギャップ指数を作成してその格差是正を呼びかけているのか?  
その理由をグループで考えましょう

ジェンダーギャップのない社会へと変化させるには何が必要でしょうか?  
必要なことを一人3つ付箋に書いて下さい

グループで付箋に書いたことを共有し、特に大切だと考えるものをダイヤモンドに順位を付けて並べて下さい



ダイヤモンドランキング

日本はこの30年で、男女雇用機会均等法の禁止規定を強化する改正がなされたり、男性の育児を保障する法整備が進みました。

しかし、まだまだ諸外国と比較すると遅れています。皆さんが理想とする、

**30年後のジェンダーギャップのない日本社会**  
はどのような社会でしょうか？

ワークシートにまとめましょう。

「ジェンダー問題」について考える

- 1 日本の2023年のSDGsの達成状況は？ 予想  
 「達成済み」の番号→( )  
 「深刻な課題」のある番号→( )
- 2 4つの国の指数は、146ヶ国中何位でしょうか？ 予想  
 1. アイスランド→( 位)      2. キルギス →( 位)  
 3. 日本 →( 位)      4. アフガニスタン→( 位)
- 3 ジェンダーギャップ指数とは(『 』)(『 』)(『 』)(『 』)  
 の4観点から数値化されています。このグラフから、どのようなことがわかりますか？  
 → \_\_\_\_\_

- 4 『アフガニスタンで警察官になった女性たち』を読み、この漫画の中の「日本にはない暴力や女性差別」「日本にもある暴力や女性差別」についての意見を出しましょう。

【日本にはない暴力や女性差別】

【日本にもある暴力や女性差別】

- 5 日本社会にも「①個人レベル(個人のジェンダーバイアス)」や「②家族レベル」「③伝統的な考え方」「④法律や国レベルの政策」で、ジェンダーギャップを感じさせられる出来事があります。それぞれの場面での、ギャップを感じる例をあげましょう。

① 個人レベル(ジェンダーバイアス)	② 家族レベル
③ 「伝統的な考え方」	④ 「法律や国レベルでの政策」

自分に振り当てられた番号は？ 丸で囲みましょう→ ( ① ② ③ ④ )

【具体的な事例】

【なぜその事例が生じるのか？】

- 6 世界経済フォーラムがジェンダーギャップを作成してその格差是正を呼びかけている理由は？

---

---

- 7 30年後のジェンダーギャップのない日本社会はどのような社会かまとめましょう。
